

個別評価票

協議会名：熊本市におけるバス交通のあり方検討協議会

実施事業	
事業の実績	
・事業実施開始時期	
平成22年10月	
・実施期間	
平成22年10月から平成23年3月まで	
・事業概要（実証運行にあっては、運行エリア(可能であれば路線図も)・運賃・運行時間帯・その他利用促進活動等特徴的な取組)事業計画どおりとならなかった部分があれば、その旨及びその理由を記載。	
<p>【事業概要】</p> <p>概要：対象沿線住民に対するバス利用促進に関する啓発資料の配布及び生活情報誌への啓発記事の掲載を行った。</p> <p>また、対象沿線住民にはアンケートも配布したが、それに加えてウェブ上でもアンケートができるようにした。</p> <p>対象地区：熊本市楠地区(市北東部)</p>	<p>モビリティマネジメントの実施 (対象地区：熊本市楠地区)</p> 
具体的成果	
事業名：モビリティマネジメントの実施	
・設定した目標(総合事業計画で設定した目標を記載)	
減少傾向にあるバス利用者を増加に転じさせるため、モビリティマネジメントを通じて、自家用車から公共交通機関への利用転換を図る。	

<p>・事業成果(総合事業計画で設定した目標の達成状況を裏付ける指標を記載。事業実施の際に抽出したデータを記載する。可能な範囲で事業実施前後の指標の変化や、事業実施中の変化等も分析)</p> <p>平成22年11月下旬に沿線住民に対してMMキットを配布し、現在アンケートの集計作業を行っている。モビリティマネジメント実施前後における乗客数の推移等についても今後整理することとしている。</p>
<p>・事業分析(事業成果等を踏まえ、課題や問題点、評価すべき事項)</p> <p>・自家用車から公共交通機関への利用転換に向けて更なる効果を上げるためには、住民に対してよりきめ細やかなコミュニケーションが必要であると認識しており、フォローアップ調査の充実などに努めたいと考えている。</p> <p>・利用転換への効果をより高めるため、本年度は生活情報誌に利用促進に関する啓発記事を掲載したが、このことは利用転換を促すことに関して非常に効果的であった。</p>
<p>事業名:</p>
<p>・設定した目標</p>
<p>・事業成果(事業から抽出したデータを記載する。可能な範囲で対比率追記)</p>
<p>・事業分析(事業成果等を踏まえ、課題や問題点、評価すべき事項)</p>
<p>・次年度に向けた検討</p>
<p>・の結果を踏まえ、当該事業が目標の達成に適切であったか、翌年度に継続する際に問題点があるかについて具体的な見直し内容を明示。</p> <p>モビリティマネジメントの実施は、バス利用者を増加に転じさせる施策として非常に適切な事業である。翌年度の継続実施に向けた見直しについては、本事業の調査分析終了後に総括するが、住民に対するアプローチの方法について工夫していきたい。</p>
<p>・補助期間終了後の展望</p>
<p>最大3年間の計画事業補助期間終了後も自立性・持続性を保つため、補助期間終了後の展望を記載。具体的に想定される必要な財源の規模・その用途を記載。</p> <p>モビリティマネジメントは、バス事業者との連携が必要不可欠であるため、費用負担や実施方法などについて今後協議検討を進めていくこととしている。</p>